

【チャイムを無くした結果】

本校には授業の始まりなどを知らせるためのチャイムがありません。この試みには次のようないきさつがありました。

多くの学校では、遠足などを校外で行う時には「5分前行動」といって、集合など1つ1つの行動を、指定された時刻の5分前には完了するように指導していました。時間に遅れたときには、早めの行動が大事だと諭してきました。

しかし、実際の学校生活ではどうでしょうか。授業と授業の間が10分しかないせいもあるのか、チャイムであわてて走り教室に入る姿が常でした。

この部分に私は疑問を感じたのです。時間を意識させる指導と、チャイムで生徒の行動を促す指導が混在していたからです。

チャイムを無くしたときに生徒からは「チャイムがないと時間が分からない」という言葉が多く聞かれました。生徒たちは無意識にチャイムで行動する習慣になっていたのです。私は「時間が分からないなら時計を見たらいいんじゃない？」と話しました。

このノーチャイムの試みから半年がたちました。生徒たちは、自然と時計を見て「そろそろ教室に入らないと…」と行動しながら授業が始まるようになりました。授業の流れも変わってきました。授業の終盤、チャイムが鳴ってあわてて「時間になったから続きは次の時間に」のようにチャイムで学習の流れが止まることはなくなりました。生徒も教師も時計を見ながら、授業のまとめをするようになりました。

また、校外学習で「5分前行動」と指導する必要もなくなりました。生徒たちに時計を見ながら行動する力がついたので。

このノーチャイムの試みは、社会に出てからも必要とされる「時間を自分でコントロールする力」の育成に大きな効果があります。

学校にはまだまだ、当たり前で行われている生活習慣がたくさんあります。今度はその一つ一つに生徒自身が疑問を持ち、改善していってくださることを期待しています。

